

書が語る、詮勝の思い。
2019 10.5 SAT — 11.4 MON

間部詮勝 遺墨展

— 幽玄の世界 —



休館日／10月7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)
開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料／大人100円・中学生以下50円 ※鯖江市内在住または通学の高校生以下無料
会場／鯖江市まなべの館3階展示室2・3
主催／鯖江市・鯖江市教育委員会
共催／舟津神社・橋本神主家

書が語る、詮勝の思い。

政治家・間部詮勝は「安政の大獄」の責を問われて藩主を退いた後、書画の世界に没頭しました。幕末動乱の中で日本の未来を切り拓きながらも、後世に「回顧録」を残すことのなかった詮勝。彼が紡いだ言葉の数々を舟津神社が所蔵する書幅からご紹介します。

●舟津神社

鯖江台地の南、王山東麓に四道將軍の一人として北陸を平定した大彦命を祭る舟津神社がある。戦国の世には朝倉氏、江戸時代に入ると福井藩の庇護を受け、間部家が家臣団を率いて入部すると、産土神として尊敬を受けて祈願所となった。

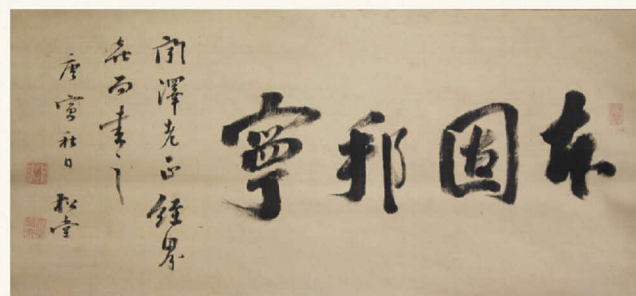


明治17年(1884)	文久2年(1862)	安政7年(1860)	安政6年(1859)	安政5年(1858)	安政3年(1856)	嘉永6年(1853)	天保14年(1843)	天保11年(1840)	天保9年(1838)	天保8年(1837)	天保2年(1831)	文政9年(1826)	文政1年(1818)	文化11年(1814)	文化1年(1804)
東京下谷車坂の屋敷で逝去	安政の大獄の責を問われて石高5万石より1万石を減封、隠居となる	桜田門外の変で井伊直弼暗殺される	大老井伊直弼と対立し、老中を罷免	「幕府の代表として孝明天皇へ日米修好通商条約勅許」の事情を説明するため京都に向かう	老中に就任する	鯖江にて備陽溪(現在の西山公園)造園	老中水野忠邦と意見合わず、西丸老中を辞任	大御所徳川家斉(11代將軍)付の西丸老中に就任	京都所司代に就任し、侍從兼任	大坂城代に就任し、從四位下に昇叙	寺社奉行を兼帯	從五位下下總守に叙任	奏者番となる	家督を相続し、第7代鯖江藩主となる	5代藩主詮照の3男として誕生

●間部詮勝略年譜

間部詮勝遺墨展

—幽玄の世界—



もと固ければ邦寧し(1830年)

藩祖間部詮房の失脚以来、間部家は長く幕政から遠ざかっていたが、7代藩主詮勝の代に再び幕政の中核に返り咲く。安政5年、大老井伊直弼と共に老中に抜擢された詮勝は開国へ大きく歩を進めたが、政敵の水戸藩や尊攘派らはこれに反発。やむなく「安政の大獄」による弾圧で反対派を肅清し、欧米列強の侵略から日本を守った。

歴史講演会

2019年10月5日(土) 14:00 - 15:30 (質疑応答含む)

【会場】まなべの館 2階演習室

【講師】安池 尋幸氏 (元横須賀市自然・人文博物館館長)

【テーマ】狂歌を育てた風土-18世紀から19世紀へ-

主催:間部公をたてる会



鯖江市 まなべの館

(お問合せ)鯖江市教育委員会文化課 〒916-0024 福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20
TEL 0778-51-5999 FAX 0778-54-7123 Email SC-ManabeYakata@city.sabae.fukui.jp

【交通のご案内】●福井鉄道福武線「西山公園駅」から徒歩3分 ●JR鯖江駅よりつつじバス中央線「市役所」から徒歩3分